

学校防災教育（北海道駒ヶ岳）～小学校の総合学習における火山防災教育の実践と展望～

Elementary School Education of Disaster-Prevention for Hokkaido-Komagatake Volcano

谷口 正実 [1]; 今野 英慈 [2]; 重野 伸昭 [2]
Masami Taniguchi[1]; Eiji Imano[2]; Nobuaki Shigeno[2]

[1] 森町; [2] 札幌管区気象台・火山監視・情報センター
[1] Mori Town Office,Hokkaido; [2] Sapporo VOIC,JMA

1. はじめに

学校防災教育（北海道駒ヶ岳）は、北海道駒ヶ岳山麓の鹿部町立鹿部小学校5年生を対象に、駒ヶ岳火山防災会議協議会（事務局：森町防災消防対策室）、鹿部町（教育委員会及び総務・防災課）、札幌管区気象台及び函館海洋気象台が連携して平成18年度に実施した防災啓発活動である。

今回対象にした北海道駒ヶ岳は、この400年弱の間に大きな災害をもたらす4回の大噴火をはじめ、近年には1996年、1998年、2000年に小噴火を起こすなど非常に活動的な火山である。今回の取組は、その山麓鹿部町に暮らす次代を担う子供たちに、郷土のシンボルである北海道駒ヶ岳の噴火活動や災害の歴史と防災の仕組み、及び北海道駒ヶ岳から恩恵を受けている町の暮らしについて、総合的に理解を深めてもらうことを目指した。そして、子供たちの火山災害や火山防災に関する知識を習得させることで、将来的には地域の防災力の向上が図られることが期待される。

2. 学校防災教育（北海道駒ヶ岳）の特徴的なコンセプト

今回の学校防災教育では、子供たちが火山学者や防災関係者から火山噴火や火山防災に関する知識を一方的に教わるのではなく、子供たち自身が対象である北海道駒ヶ岳について興味を持ったテーマについて、調べ、まとめ、発表するという一連の過程を総合的な学習の時間で実施する形式を採った。

また、学習を進めるにあたり駒ヶ岳火山防災会議協議会や気象台、さらには火山学者が適宜サポートしたが、実際に授業を行ったのは担任の先生であり、地域における火山防災教育が小学校の授業として継続的に行われていくことを企図した。

3. 学校防災教育（北海道駒ヶ岳）の主な流れ

鹿部小学校教職員の知識増進のため、吉本充宏助手（北海道大学大学院理学研究院）を講師に招き、北海道駒ヶ岳山麓などの巡検を実施

子供たち用副読本及び教師用指導書の作製

鹿部小学校における総合的学習授業の実施（全20時限）

【導入】副読本や映像資料を用い北海道駒ヶ岳の噴火や防災の概要を学習

【調べ学習】子供たちがいくつかのグループに分かれ、それぞれが課題を見つけて調査を実施。鹿部町内に残る噴火遺構や防災施設の見学、防災関係機関の訪問、インターネットや文献による調査等を実施。

【調査のまとめ】【プレゼンテーション資料の作成（演習）】【発表の練習】

（以下、授業参観として保護者も参加）

【調査結果発表会】

【火山博士に聞いてみよう】講師：吉本充宏助手（北海道大学大学院理学研究院）

【火山の実験】台所などにある身近な素材を用いた火山活動に関する模擬実験

【火山の恵みに関する学習】地域の産業と北海道駒ヶ岳の係りなどの説明

4. 今後の展望と課題

授業終了後に子供たちに対して行ったアンケート調査では、全体として楽しいと感じた子供たちが大多数であった。一方で、20時間という時間数もあってか、やや満腹感があり、とりあえず今は火山に関する授業はもう満足であるという印象も見受けられた。感想を細かく見ていくと、防災情報の伝達や避難に係る準備等に言及する記述も見られ、一部の子供たちには防災意識の芽生えが感じられた。初年度の試みとしては成功裏に終わったものと考えるが、以下の課題につき検討を進めている。

授業を行った子供たちに対し、意識を持続させる方策（今後も火山や火山の防災情報等に触れる機会を増やすこと等）

授業を行った学校で火山防災教育を継続実施するための方策（学校が主体となって取り組む意識と、学校の負担を少なくするための関係機関の積極的なサポート等）

地域の防災力向上に資するため、対象となる学校を増やしていくための方策（一方で関係機関の体力にも限りがあり、相対的に関与が弱くなるなどの弊害への対処等）

他の火山地域へも同様の取組を広げていくための方策。

5. 謝辞

学校防災教育（北海道駒ヶ岳）の実施にあたっては、北海道大学大学院理学研究院の吉本充宏助手に全面的に協力をいただいた。ここに感謝する。また、モデル校となることを快諾され、積極的に学校防災教育の実施を進めていただいた鹿部小学校の山中校長以下教職員各位、特に窓口となって対応いただいた澁谷教頭及び総合学習の実施を担当された5年生担任の小玉先生・本木先生には感謝する。